



【さんぺい武後援会ニュース】

## 未来へとどけ! エコシティ ひたちなか

発行 NO.70

発行月：2026年1月

発行者：さんぺい武後援会

住 所：ひたちなか市市毛1077

電 話：029-273-6826

## 直面する課題解決に取り組む

新年あけましておめでとうございます。ご家族お揃いで新しい年を迎えたこととお慶び申し上げます。

昨年は、20年ぶり大阪・関西国際博覧会や34年ぶり東京世界陸上などが開催された夏、日本の平均気温が過去最高を記録し、熱中症対策、防災、気候政策の見直しが改めて課題となりました。また、11月に発生した大分市の火災では、170棟以上の建物が焼失する、日本国内で「震災以外で最大級の都市災害」と報じられ、建物密集地の脆弱性と防災対策の必要性を再認識しました。嬉しいニュースでは、サッカー J2水戸ホーリーホックが、クラブ創設31年目で初のJ1昇格を決め、鹿島アントラーズは9年ぶりリーグ優勝、J1の舞台で「茨城ダービー」が実現します。

ひたちなか市は、令和5年に続き6年も観光客入り込み客数が県内で1位になりました。今後も市内周遊や宿泊につながる観光振興を推進し、本市の経済効果が高まるよう取り組んでまいります。

人口減少や少子高齢化が進行する中での住民福祉の向上と地球温暖化への対応など、直面する様々な課題の解決に向けて全力を尽くしてまいります。本年も変わりないご指導とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

今年一年が皆様とご家族に良い年であることをご祈念申し上げます。



ひたちなか市大島公園の白鳥

## 【12月定例議会】

令和7年第4回ひたちなか市議会12月定例議会が、12月4日から15日間にわたり開催されました。本定例議会では、2件の報告案件説明、令和7年度一般会計補正予算(第4号)など補正予算議案2件、ひたちなか市市税条例の一部を改正する条例制定についてやひたちなか市第4次総合計画基本構想についてなど計11件の議案を審議し、全議案を原案の通り可決成立しました。また、陳情「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求めるについて」を採択しました。

今回は、令和7年度一般会計補正予算(第4号)と12月25日に専決処分された令和7年度一般会計補正予算(第5号)の内容、その他トピックスについて報告します。

## 令和7年度一般会計補正予算(第4号)：6億9,410万円を増額補正

### 主な補正内容

#### 1. 総務費

(1) 国・県支出金返納金 … +2億511万円

令和6年度までに実施した事業に係る国庫負担金等9件について、交付額の確定に伴い精算分を返還する。



サービス助成及び障害児通所支援費助成を増額する。(国県支出金:3億1,476万円、一般財源:1億492万円)

#### 2. 民生費

(1) 障害福祉サービス費助成 … +2億3,418万円

(2) 障害児通所支援費助成 … +1億8,549万円

社会福祉費において、利用者の増加等により、障害福祉

#### \*人権費に係る補正(全職員) ---+6,929万円

人事院勧告に基づく給与改定及び人事異動等に伴う人件費を補正する。

## 令和7年度一般会計補正予算(第5号)：4億7,849万円を増額補正(専決処分)

#### 1. 物価高対応子育て応援手当支給に係る経費 … +4億7,849万円

長期化している物価高騰の影響を強く受けている子育て世帯を支援するため、物価高対応子育て応援手当を支給する。(国庫補助金: 4億7,849万円)

<支給額:児童一人あたり一律2万円>

<支給対象者:児童手当受給者(未申請者含む)、新生児の父母等>



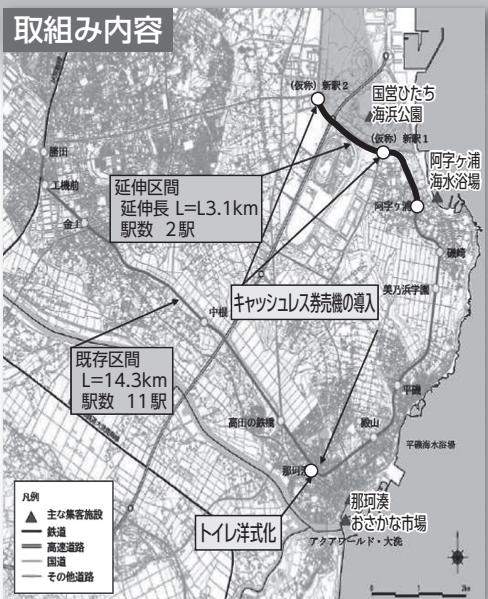


## トピックス

### ひたちなか海浜鉄道湊線 延伸事業について

ひたちなか海浜鉄道湊線延伸事業の国の財政支援制度活用の前提となる「鉄道事業再構築実施計画」が12月22日に認定されました。今回の計画では、計画期間を令和8年度～令和17年度(10年間)、対象路線は延伸部分を含む17.4km、主な取り組み内容では、事業構造を「みなし上下分離方式」、利便性の向上として、国営ひたち海浜公園西口付近への延伸やキャッシュレス券売機の導入、那珂湊駅構内にあるトイレの洋式化などのほか、既存の鉄道施設等の設備更新及び維持補修に要する費用、延伸など利便性向上に係る設備費等の負担などの内容になっています。

今後、早期に補助申請を行い、令和8年度からの事業着手をめざして準備が進められます。



### ネーミングライツを導入します

「ネーミングライツ」とは、公共施設等に愛称を付与する命名権のことです。市が所有する施設を有効活用し、新たな財源確保や施設の知名度、サービス向上等を図ることを目的としています。

#### 【対象施設】

1. 「ひたちなか市文化会館大ホール」
  2. 「ひたちなか市文化会館小ホール」
  3. 「親水性中央公園」
  4. 「稲田陸橋(国道6号と産業道路交差部)」
- \*希望期間は、令和8年4月1日から5年間。

市有資産を活用することで得られたネーミングライツによる収入は、対象施設等の維持管理費や運営費に充てられ、市政の財源として有効に役立てられます。併せて、命名権を獲得した団体等は、命名権の対価として、市にネーミングライツ料を支払うことで、広告効果による知名度の向上や社会貢献活動につながります。



稲田陸橋(国道6号と産業道路交差部)

### 議会の新体制

昨年の12月議会において、「薄井宏安」議長の再任と「鈴木道生」副議長の新任が決定しました。また、常任委員会や議会運営委員会の任期が2年であることから、関係する委員会などの改選が実施されました。

#### 〈さんぺい武が所属する委員会〉

##### 1. 文教福祉委員会（委員8名、任期2年）

保健福祉部、子ども部、教育委員会の所管に属する事項について、議案の審査や施策の調査などを行います。市議会の最終的な決定（議決）は、本会議で行いますが、能率的・専門的な審査を行うために委員会を設置し、本会議の審査の前段として審議します。

##### 2. 決算委員会（委員12名、任期1年）

市の前年度決算を検証するため各会計の決算議案を審査します。

決算における収入・支出及び事業の経過や効果などの総合的な審査を通じ、各会計の決算を認定します。

### ハーフタイム

日本漢字能力検定協会が実施している2025年の世相を一字で表す「今年の漢字」が「熊」に決定しました。1995年に始まり31回目で、「熊」が選ばれるのは初めてです。各地での出没と人的被害が相次いだことに加え、漢字で「熊猫」と表記されるパンダの中国返還にも注目が集まつたことが理由です。熊を巡っては去年、市街地にも出没イベントの中止や学校の休校などで市民生活に影響を及ぼしました。「アドベンチャーワールド」(和歌山県白浜町)のパンダ4頭の中国返還もありました。2位は「米」、米の価格高騰や米国のトランプ大統領就任などが理由。3位は「高」、物価高や女性初となった高市早苗氏などが挙がりました。熊が選ばれたことについて、森清範貫主は「地球環境が変わっている問題を考えいかなければならないという提案だと思う」と話しました。漢字一字で終わらせず、一人ひとりがこれから考えて行動しましょう。